



平松政次さん

元プロ野球選手・高梁市市政アドバイザー

高梁市市民栄誉賞

市では、平成29年に日本野球界最高の栄誉である「野球殿堂入り」を果たされた平松政次さん(横浜市)に、このたび創設された「高梁市市民栄誉賞」を授与しました。

これに際し、10月5日に高梁総合文化会館で、「平松政次氏野球殿堂入り記念 高梁市市民栄誉賞授与式・記念講演会」が開催され、多くの人が聴講しました。

☎秘書広報課 (21)0201

高齢者叙勲

【瑞宝双光章】

なかやま ときお
中山 時夫さん(川面町)



昭和24年に教職に就かれてから、平成2年に退職されるまでの40年間にわたり、児童・生徒の学方向上やへき地教育の充実、教育環境整備に努められてきました。高梁中学校時代には高梁中学校と落合中学校、玉川中学校の統合に、吹屋中学校時代には吹屋中学校最後の校長として、生徒や保護者の不安を払拭し、安心した学校生活を送れるように心を砕かれました。

☎学校教育課 (21)1508

全国大会出場

【第56回全日本学生アーチェリー個人選手権大会】

吉備国際大学2年(アーチェリー部)
はやしだ がいと
林田 凱斗さん(本町)



「今回の全国大会では、予選で敗退してしまい、非常に残念な気持ちでいっぱいです。世界大会に出ている選手も多く、場の空気にのまれ、思うように射つことができませんでした。アーチェリーは長く続けられるスポーツなので、これからも精進したい」と話されました。

☎スポーツ振興課 (21)0425

9月号の21ページに誤りがありました。お詫びして訂正します。
「全国大会出場 高梁クラブ」
(誤)池田尚章(いけだ たかあき)
↓(正)池田尚章(いけだ たかふみ)

平松さんは昭和22年9月19日に岡山県上房郡高梁町(現高梁市)にお生まれになり、昭和38年3月に高梁中学校を卒業後、同年4月に岡山県立岡山商業高等学校に入学、高校3年生の時に第37回選抜高等学校野球大会に出場され、全試合完投のうえ優勝、岡山県勢初の全国制覇を成し遂げられました。平松さんがこのとき打ち立てた39イニング連続無失点の記録は、52年経った今でも破られていません。

昭和41年に日本石油株式会社へ入社されると、その翌年に開催された第38回都市対抗野球大会で、最高殊勲選手に贈られる橋戸賞を受賞されるなどの活躍をされ、チームを優勝に導かれました。

昭和42年にプロ野球の大洋ホエールズへ入団されると、昭和45年には25勝を挙げ、最多勝利投手のタイトルとともに沢村賞を受賞されました。その後も12年連続2桁勝利を挙げるなど、優れた投球術と平松さんの代名詞となった「カミソリシユート」を武器に、エースとしてチームを支えました。昭和58年には通算200勝を達成され名球会入り、昭和59年の現役引退までに通算201勝を挙げられました。こうした活躍が評価され、平成29年に日本野球界最高の栄誉である「野球殿堂入り」を果たされました。

引退後は野球解説者として活躍するかわら、平成18年にはNPO法人横浜ベイスターズ・スポーツコミュニティの初代理事長として、スポーツを通じた地域貢献に尽力されました。

また、本市においても、平成6年から今年で24回目を迎える平松政次旗学童軟式野球大会を主管され、野球を通じた青少年の健全育成にご尽力いただいています。さらに、平成18年より高梁市市政アドバイザーとして、市政に対しご助言・ご提言をいただくなど、地域発展・地域振興へのご貢献もいただいています。



「我が野球人生」と題した講演会

協力隊がゆく

19

「備中漆」の復活を活動テーマとして今年6月に着任しました森永です。私が地域おこし協力隊として着任し、まず取り組んできたのが漆掻きの技術習得です。漆掻きとは、漆の木からじみ出る樹液(漆)を採取する仕事です。言葉で表すのは簡単ですが、実際はなかなか難しい。そして、高梁市に移住するまで、私は漆に関してまったくの素人でした。



もりなが ゆうじ 森永祐史 隊員

「漆かぶれ」です。想像以上の腫れと痒さと水脹れ。飛び火してひろがっていく「かぶれ」に戦々恐々の日々でした。

しかし、それだけの苦しさがあからこそ、溜まっていく漆を見ると、とてもうれしい気持ちになります。現在(9月19日)までに14度目の鎌入れを終え、漆の採取量は750gほど。

今年の漆掻きは、そろそろ終わりが近づいています。秋からは、採取した漆を使って、漆塗りや漆染め商品の製作、漆の実を使った珈琲づくりにも挑戦します。たくさんの方に「備中漆」を知ってもらえるような活動に取り組みしていきます。



樹皮の傷からじみ出る樹液(漆)を慎重に漆を採取する森永隊員

漆掻きは本当に大変な仕事だということ。山中で夏の暑さや虫と闘いながら、忍耐強く一滴一滴の漆を採取していきます。

特に苦しかったのは初体験の